

② 項目	① 援助が困難・うまくいった / 書けていない・書けている	F S O A I P	③
	①の欄： ・自分自身の支援経過記録の場面で、F-SOAIP で書き換えたい場面を思い出しながら記入するか、その場면을コピーできる場合には、ここに張り付けて下さい。【初回】を○で囲みます。 既に F-SOAIP を導入している場合には、あらためて検討したい F-SOAIP の場面を用います。【導入】を○で囲みます。 ※注意！：個人情報は伏字にして下さい。 ・その場面が、「援助が困難な場面」か、「うまくいった場面」を選びます。 ・その記録が「うまく書けていない」か、「うまく書けている」を選びます。 ②の欄： ・記入または貼り付けた記録のどの部分が、S, O, A, I, P に相当するか、ここに記号を書き出してみます。記録そのものにアンダーラインを引いてみるのもよいでしょう。 ③の欄： ・①の場面を改めて S, O, A, I, P に沿って思い出し、各項目別に補足が必要な場合や漏れていた内容があれば、該当する項目に記入し、①のどこに挿入すべきか、矢印 (→) で示して下さい。 ・③までをふまえ、F を考えて記入してみましょう。 ④⑤の欄： ・①～③までをふりかえって記入して下さい。		

【導入・OJT 版】では、初回からの変化・成長を確認し、モチベーション向上を図ることができます。

項目	⑥	⑦ワーク前後の気づき・学び・変化	⑧
	⑥の欄： ・上段のワークをふまえて、F, S, O, A, I, P の項目を用いて、書き直してみましょう。 ・F は、最初の 1 行目に記入します。既に③で考えてみた F をあらためて考えてみましょう。 ・F を決めることにより、実践の思考過程を確認し、SOAIP で整理しましょう。 ・S, O, A, I についてはその順番も、用いる回数も制約はありません。 ・P は最後の行に記入します。 ⑦の欄： ・ワークシートを行う前後での、気づきや学び、考え方の変化などについて記入して下さい。 ⑧の枠： ・今後、どのように F-SOAIP を活かしたいかについて記入して下さい。		

【導入・OJT 版】では、①にも F-SOAIP による記録場면을記載しますので、⑥では、記録場面の内容 (アセスメントやアプローチ等) に立ち入った検討ができます。

② 項目	① 援助が困難・うまくいった / 書けていない・書けている	③ F S O A I P	
			④ 良かったこと
			⑤ 難しかったこと

項目	⑥ F-SOAIP	⑦ ワーク前後の気づき・学び・変化	
			⑧ 今後の活用